

レジメンcode:	C90-14
適応がん種:	多発性骨髄腫
レジメン名:	RVD-lite療法(皮下注)
間隔:	5週間[*4]

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
BOR	ベルケイド	1.3	mg/m ²	皮下注	d1.8.15.22
	レブラミド	15	mg	[*1] 内服(朝食後)	d1~21
	レナデックス	20	mg	[*1] 内服(朝食後)	[*2]d1.2.8.9.15.16.22.23

* 10サイクル目からは、強化療法(ベルケイド+レブラミド)に移行する(次ページ参照)。

【1~9サイクル】

day1、8、15、22

1) ベルケイド	1.3 mg/m ²
生食	1.2ml
	皮下注 1.2ml/1V 溶解後必要量調製
	〈所要時間 ー〉

day1~21

1) レブラミド	5mg	3 C/day
	内服	[*] 朝食後

day1、2、8、9、15、16、22、23 [*2]76歳以上は、day1、8、15、22に内服

1) レナデックス	4mg	5 錠/day
	内服	[*] 朝食後

[*1] day1、8、15、22は化学療法実施指示を確認後、内服すること。

連日[*3]

1) バイアスピリン	100mg	1 錠/day
バクタ		1 錠/day
アシクロビル	400mg	0.5 錠/day
	内服	朝食後

[*3]血栓塞栓症、ニューモシスチス肺炎、帯状疱疹の発症予防のため上記薬剤の内服が推奨されている

次ページあり

【10～15サイクル [*4] 間隔:4週間】

day1、15

- 1) ベルケイド 1.3 mg/m²
生食 1.2ml
皮下注 1.2ml/1V 溶解後必要量調製
〈所要時間 ー〉
-

day1～21

- 1) レブラミド 5mg 3 C/day
内服 [*] 朝食後
-

◎注意事項

レブラミドは、ヒトで催奇形性を示すサリドマイドによく似た薬剤であり、胎児への暴露予防を目的にその流通および使用が適正であるかを管理・評価する「レブラミド適正管理手順(RevMate:レブメイト)」が定められている。RevMateは、医療関係者、患者さんとそのご家族等、すべての方に理解し遵守していただくことが必要である。